

Rotary

Rotary Opens
Opportunitiesロータリーは機会の扉を開く
2020～2021年度 ホルガー・クナーク RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2021年4月15日(3385例会)(創立70周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3299

■呉RC 2020～2021年度テーマ 「調和と未来への継承」

会 長 長 尾 正 嗣
副 会 長 長 行 事 義 人 幹 事 石 田 直 樹 会長エレクト 福 田 多 喜 二
直前会長 志々田幸治 会 計 畦 淳 造 会場監督 中 崎 誠

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

次週のメインプログラム

職業奉仕委員会担当例会

「新型コロナウイルス感染症について」

下瀬 省二君

会員卓話

和田 昭 君

第 3384 例会記録【4月8日(木)】

【プログラム】 ◇職業奉仕委員会担当例会

「電子書籍の変遷と5G時代の幕開け」 尾川 匠君

・電子書籍の変遷 ・電子書籍率58.6%の現実 ・TME プラスのビジネスモデル領域 ・第5世代(5G)時代の幕開け:1G から5G に至る変遷。5Gなら超高画質の動画が短時間にダウンロード可能。VRやARが可能。ゲームの新展開。自動運転支援(LEVEL0～5)。医療発展(遠隔診断や遠隔手術)。商品購入支援(自動決済等)。INTERNET OF THINGSの進展。 ・5Gのリスク:プライバシー侵害、サイバー攻撃、地域格差、6G時代にむけて国家の覇権争い。

【出席率】 前々回 92.42% 今回 87.69% (会員69名・欠席8名・免除4名)

【他クラブ出席者】 ◇山本・中野・海生(知)・畦・西藤君 5名

【欠席者】 ◇石田・江山・海生(知)・坂田・佐藤・森澤・山村・藤井(聖)君 8名

【出席免除者】 ◇大島・奥川・海生(孝)・武田(保)君 4名

【幹事報告】 ◇RI…ロータリーレート 1\$ = 110円に変更

◇RI日本事務局…母子の健康月間 リソースのご案内

◇RI日本事務局財団室…財団室ニュース 4月号

◇公益財団法人 米山梅吉記念館…米山記念館賛助会員及び全国一人100円募金のお願い。

…館報No.37

◇4月11日後援会当日呉信金ホール地下駐車場の駐車券5枚確保。

【S.A.A】 ニコニコ



◇住田佳樹君…4月4日(日)郷原の呉市総合スポーツセンターで中国新聞芸南少年サッカー大会が行われました。コロナ禍いろいろ制限の多い中でも、のびのびプレイする子供たちの笑顔はすがすがしいものでした。雨の中、早朝からお世話をされた中国新聞の岩崎さん、サッカー協会の谷口さん、ご苦勞様でした。お二人のロータリアンの素晴らしい青少年奉仕活動に敬服してニコニコ寄付をさせて戴きます。

◇谷口彰啓君…第28回中国新聞芸南少年サッカー大会を開催して戴きありがとうございます。また5日の新聞にも掲載して戴き感謝です。私が指導しているチームも3位となりました。岩崎支社長ありがとうございます。

◇結婚記念日の御紹介

◎ニコニコ基金金額 27,000円(累計金額 1,239,000円)

私の仕事と職業奉仕



太刀掛祐之

このタイトルで原稿依頼をいただきましたが、そもそもロータリークラブに入会して何年経っても、職業奉仕と社会奉仕の区別がなかなか難しく、本質を理解することに少々あきらめ気味です。と、言い訳はこのくらいにして…

現時点での私の思う職業奉仕とは、「自分の社内での奉仕であり、自分を含めた社員個々が仕事の質を上げることによって社会に貢献できるようになる為の研修や勉強会を行なうこと」と理解しています。

私の仕事である「神職」とは、神社におまつりされる神にお仕えする者のことですが、具体的な主な仕事は、

- ①お宮参りや七五三、地鎮祭といった祭典の斎主として神事を行なうこと
 - ②氏子崇敬者が神に祈るために訪れるご神域（境内）を、清々しく祈りにふさわしい空間に保つこと
- の二つです。

①は祭りを行なうこと、②は境内の掃除をしたり景観を整備したりすることですので、みなさまも神社に足を踏み入れると少なからず目にする光景だと思います。

もちろんこの他にも神職の仕事は存在しますが、この①と②、そして①と②以外の様々な仕事は、実はすべて次の一つのことに集約され、これが神職の使命でもあり、社会への貢献でもあると思います。

「自然の一つ一つに神を感じてお祀りしてきた、神道という日本人の感性を次の世代に伝え繋げること」

①お祭りをするときも、②掃除をするときも、参拝者が神を感じられるような清々しい立ち振る舞い（作法）で神事を行ない、神を感じられる気持ちよい境内に整備をすることを常に意識して務めれば、きっとこの自然に神を感じた日本人の感性は次世代にも伝わるはずと信じています。

そのために、日々の祭典では作法の善し悪しを互いに遠慮無く指摘しあえる雰囲気づくりを心掛け、年に一度は外部講師を招聘し作法の社内勉強会の開催に努めています。もちろん勉強会の後には、直会（ナオライ）と称した飲みニケーションで互いに指摘しあいながら作法談義を。

残念ながら昨年はコロナの影響により、勉強会が出来ませんでした…

現時点での私が考える職業奉仕はこういったところです。まだまだロータリーの奉仕の精神について学ばなくてはならないと実感したこの度の週報寄稿でした。ありがとうございました。